

そこから4Fくらいの高さにある駅の建物までスロープを登っていく。急勾配なので、申し出ればスタッフが介助してくれる。この日は日曜だったので1時間待ち。北野1丁目駅（もう少しましな名前はなかったの？）ではエレベータで改札階（4F）へ。身体障害者手帳を提示すると料金は半額（2人往復で1,000円）になる。69基のゴンドラの内3基が車いす仕様（ゴンドラ自体が大きく、ドアの幅も広く、揺れても大丈夫なように掴むところもついている）で、ゴンドラを一瞬止めて簡易スロープで簡単に乗込める。他のゴンドラが相席なのに貸切になる（ラッキー！）。

乗り込んだ正面が南（海側）になるので眺めは最高。右に和田岬からポートアイランド、第二期工事の様子がよく分かる。徳島からの水中翼船が港に入ってくるのが見える。六甲アイランド、芦屋シーサイドタウンの黒い屏風の様な高層マンション群、西宮浜。少しもやっけていて関西新空港までは見えなかった。三宮という5系統の鉄道が乗り入れ、日本最大の貿易港を目の前にすることができるターミナルからほんの少し離れたところにあるとは思えない絶景。

ゴンドラのお愛称が夢風船。本当に風船に乗って浮んでるような気分だった。

布引の滝が真下に見え、風の丘駅を過ぎるとそこはハーブ園。そして布引ハーブ園駅に到着。乗り込む時同様、駅員が手早く介助してくれて降りる。

駅周辺はフラットで動きやすい。

展示などの説明はあんじいにまかせた。わたしにや、わからん。

ガイドのあんじいでーす。

あんじいは、展示とお庭のご案内をさせていただきます。

(^^)/^^ (一度ガイドさんをやってみたかったあんじい)

はい、本日は神戸市公園緑化協会、布引ハーブ園によろこおいで下さいました。m()m ご案内のAngela Mitchellと申します。女性です。新神戸ロープウェイ夢風船からの景色はいかがでしたでしょうか。

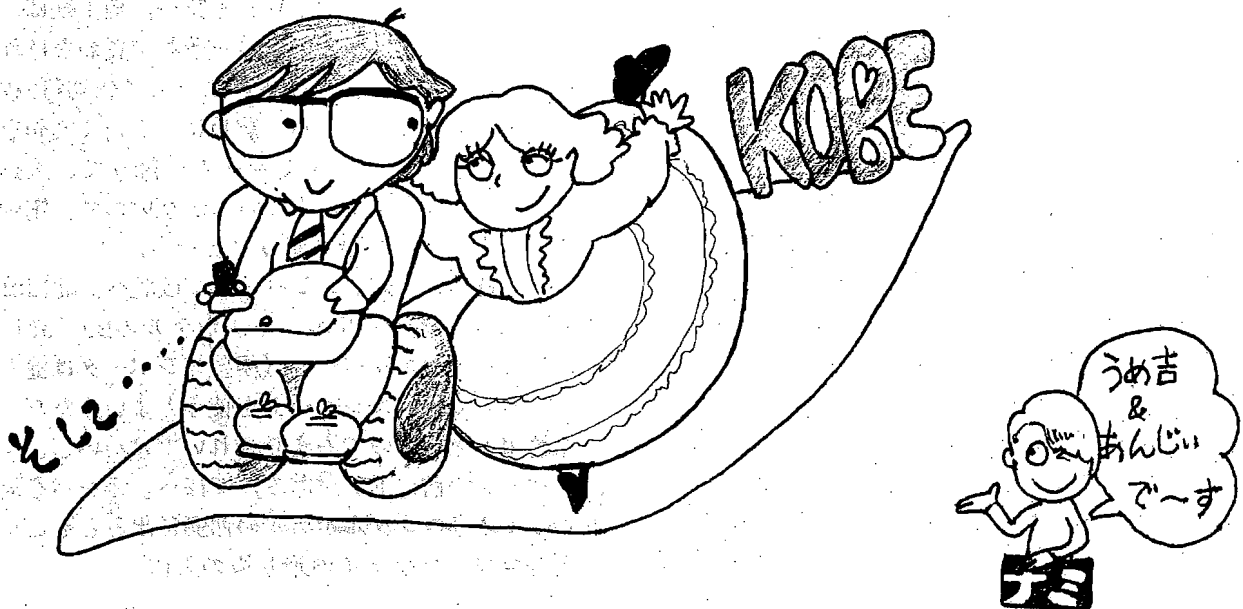
では、これから香りの資料館「森のホール」へご案内いたします。ここでは、約160種の香水瓶、ハーブオイルの抽出器、天然の香料等を展示しております。2階ホールは、コンサート、映写会等のイベントホールとなっております。

こちらで、一時解散とさせていただきますのでご自由にご見学下さい。手前の建物、展望レストハウスのハーブのお店でお買い物をしていただいても、展望レストランで、お過ごしいただくのもよろしいかと思ひます。（でも、レストランは入るだけで1時間くらい待たされそう）

ふたたびうめ吉です。

駅周辺を見て夢風船に乗って降りるということもできるが、少し下にもガラスハウスという温室もあるのでそこを見にいった。ガラスハウスまでは坂がきつそうなので、事務所にいうとリフト付ワゴン（布引ハーブ園駅に常設）を出してくれるということで、それに乗って楽々移動。

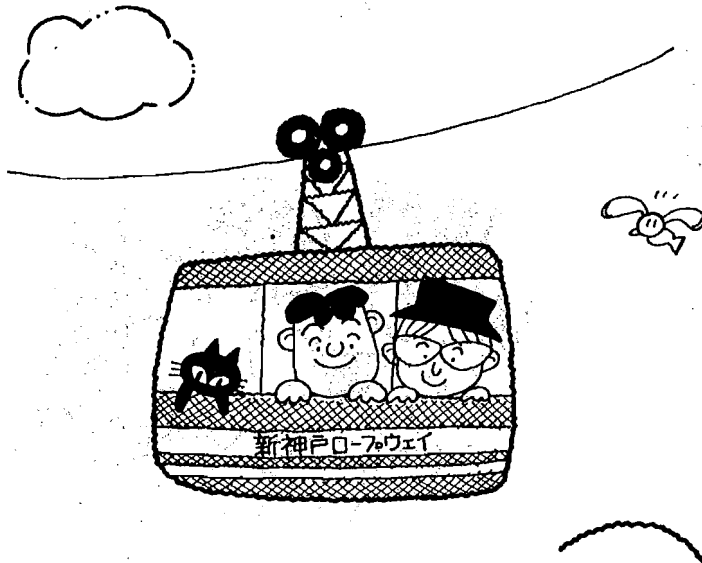
こっちの説明もあんじいにまかせた。



みなさん、お楽しみいただけましたでしょうか。ただいまから、坂道を徒歩で下り、ハーブ畑をぬけて、ガラスハウスの方へ参ります。各種ハーブが栽培されておりますので、お見逃しのない様に。風が吹くと、ローズマリーの香りがしますが、お気づきでしょうか。

こちら、ガラスハウスでは、温室内に「カレーのスパイス」「クッキーのスパイス」「レモンの香りのハーブ」といったテーマ別にハーブ、スパイスの草木を育成しております。2階では、各種スパイスの紹介、「ハーブの家」では、アメリカン・カンントリー・スタイルのハーブを生活に取り入れたりリビング・ダイニングキッチンを展示しています。

ガラスハウスから海側に出た所の展望はおすすめです。



またもやうめ吉です。

ここで、ネットワーク通信シリーズの執筆者である我羅門さん、FLANKERの発送をいつも手伝っていただいているひとみさんら”NMC off lineハイキング軍団”と遭遇。布引の滝から登ってきた軍団は少し休憩をとって、登り続けていった。(NMC:プロップ・ステーションが誕生したBBS情報倉庫西宮のこと)

ガイドのあんじいです。

ではふたたび、ご集合頂きまして坂を下り、お花畑を抜けて風の丘の展望台横を通過して、ロープウェイ「風の丘駅」に参ります。みなさまとはここでお別れとなります。

まだまだうめ吉です。

ガラスハウスから下も風の丘駅までいろんな草花が植えてあるようなのでワゴンを断って、車いすでおりにいった。ワゴンを頼んだらよかった(;;)というのも思ったより勾配がきつかった。これを読んでいる人は絶対に真似しないように。

(^;)

みなさま、お楽しみいただけましたでしょうか。また機会があれば、ぜひ布引ハーブ園へおこしくさいませ。

しつこくうめ吉です。

どうにかこうにか風の丘駅に到着。専用エレベータでホームへ案内してもらい、やっぱり駅員が手早く介助。帰りは、乗り込んだ正面が山側なのであまり景色はよくない。顔がないから回せないのの後が見えない(;_;)。

北野1丁目駅到着。入口へ向かう坂道は急すぎておりにるのが怖いので、スタッフに言ってオリエンタルホテルの玄関へ誘導してもらおう。オリエンタルホテルの玄関(4F)を入れて左奥にオーパにも通じるエレベータがある。これに乗ってB3まで行けば、地下鉄で帰れる。この日は中山手通へ向かうため、1Fで降りて外へ出てピロティを道路沿いにB1までおりにいく(エレベータをB1で降りると階段でしか外へ出れない)とフラワーロードの北詰(布引交差点)へでる。

おしまい

(プロップ・ネット[U B 010]【Access はまころいす】ボードよりNo.2 および No.22 のメッセージを一部修正して転載)

【教訓】ハーブ園での食事の仕方

1. 展望レストラン：1時間待ちでまともなものが食べれる
2. 売店：人をかき分けクッキーがアイスクリーム
3. ガラスハウスレストラン：30分待ちでたいしたものはない
4. ガラスハウス売店：20分待ちでミートパイがクッキー
5. お弁当持参：これがいいと思う

プロップ・ネットの話題から

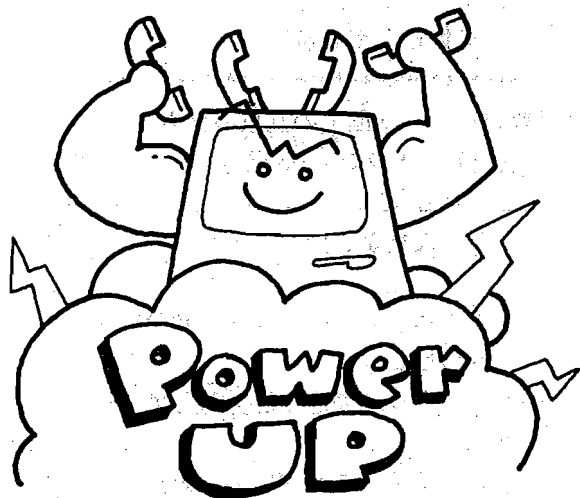
'94/1 Version

うめ吉

チャカチャンリンチャンリンデンデン
えー、あけましておめでとうございます。今年もプロップ・ネットをよろしく願い致します。と、型通りの御挨拶はこれくらいにして、と。

さて、プロップ・ネットですが、前回のレポートからダイナミックに変わりました（地の声：お前がこの原稿を書いている時には、まだ”予定”ではないんとちゃうか？）。前号でも御紹介した（財）電気通信普及財団よりの御助成により、ホスト・システムの強化、新型マシンの購入、通信速度の向上(14400bps/V32/LAPM/V42bisまで対応)、回線増等周辺整備を行いました。また、人的にも多数の方々の御協力が得られ、メンテナンス面でもパワーアップを計ることができました。御協力いただいた皆様、ありがとうございました。

現在、ID取得者数は190名あまり、そのうち毎日～毎週アクセスされているユーザは60名ほどで1日平均アクセス回数が90回前後になりつつあります。書込数も増える一方です（地の声：我田引水しすぎとちゃうか？）。



ボードで目について変わったところといえば、

[B02] 書き込み練習ボード

が設置されたことです。オンラインの書き込みやマクロのテストをするためのボードです。また、このボードを利用して障害者向けパソコン通信講座も2回開催されました。



その他には、時節柄と申しましょうか、

[B35] IBM PC/AT互換機 room

[B36] WINDOWSの部屋

この2つのボードが極端に賑わいだしました（地の声：存在が知られてなかっただけちゃうんか？）。初歩的な質問から高度なテクニック、マシンの買い方まで、第一線で仕事をしてられる方々が質問に応じてくれます（地の声：ナミねえでもわかるといううわさやそうやな）。

それから、

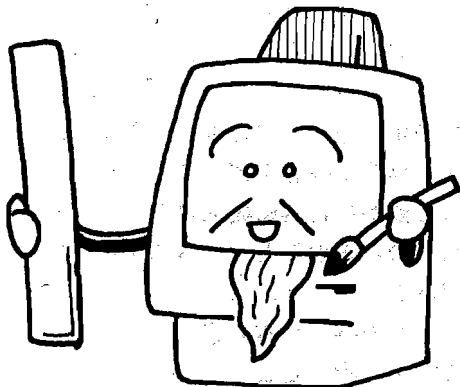
[B25] VANGUARD (視覚障害部)

は一時期さびれてはいましたが、プロップ・ステーションの視覚障害者部門“VANGUARD”が発足してからはなかなかの盛況振りを見せています。特筆すべきは、このボード上で知りあった視覚障害以外の障害をもっている人達が健常者のボラ同様にVANGUARDの活動に協力し始めたということです。パソコン通信ならではの光景といえるでしょう(地の声:俺はよそでも見たことあるぞ)。

ユーザボードに目を向けてみると、相変わらず好調なのが

[UB089] ぶろっぶ座

石田京愛先生の俳句ボードです。昨年暮れには、“俳句ing”と称してオフラインでの句会を催したほか、オンラインでも投句会をするなど活発な活動が見られます。

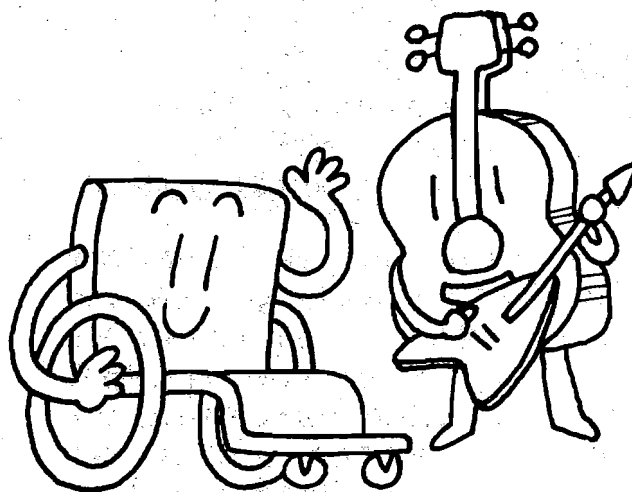
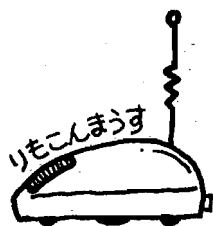


電脳も、ソフトなければカタイ箱

新しいところでは

[UB124] 音楽ごっこしようよ

が変わり種です。フランクの今号に掲載されている“クマさんのコンピュータ作曲入門”著者クマさんが主催するパソコン・ミュージックを中心に音楽全般の話題を提供するボードです。



プロップ・ステーションらしいユーザ・ボードといえば

[UB010] Access はまころいす

ですね(地の声:お~しらじらしい)。内容は公共交通機関の駅やターミナル、付近の公共施設への車いすでのアクセスを教えあっこするボードで、私、うめ吉が主催しています。“はまころ”というのは関西弁で車輪のことをさします。今のところ、“~へ行きたいのでルートを教えてほしい”という質問に、げんさんとうめ吉が応えているという形式ですが、将来的にはこのボードをきっかけに外出した人が新しい情報を引っ提げて戻ってきてくれることを期待しています。

最後に、できたてのほやほや(執筆時)のボード

[B26] 曾我部先生とコンピュータ

を紹介します。このボードは、プロップ・ステーション発足時から何かと関わりの多かった曾我部先生の教壇復帰を目指して技術支援をしていくボードです。情報をお寄せ下さい。

ということで、今回は短か目にまとめてみました。

次回はいつになるかわかりませんが、面白い話題やボードができた時にお目にかかることになるでしょう(地の声:いつになることやら)。

(うめ吉&地の声)

No mountain is too high to climb

～山険しくとも～

全盲のキャラ・ダンさんを囲んで

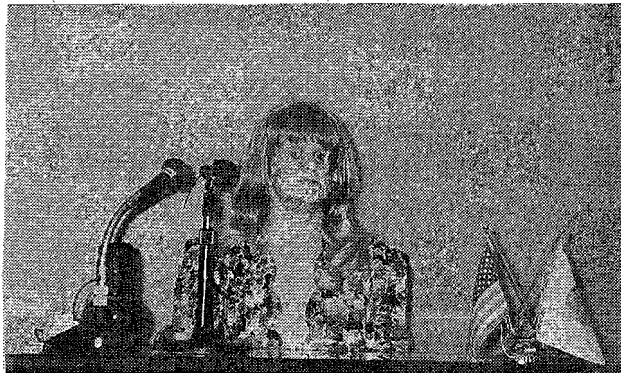
写真&文：大和なでしこ

昨年8月12日、「障害を持つ学生の国際高等教育会議」のアメリカ代表として、「情報アクセス」について発表するため来日されていたキャラ・ダンさん（以下、愛称の「キャラ」と略す）が時間を作って大阪に駆けつけて下さった。アクティブ（活動的）な性格のキャラは、「せっかく来日したのに、学会出席だけではもったいない。2年前にお会いした日本のみなさんと今回も是非、お話がしたい」と強く希望され、大阪ガス主催のキャラを囲む会が現実のものとなった。キャラは現在、二次性転移上顎癌が再発しており、化学療法による治療を受けている。主治医には「ベッドで寝ていなければいけない」と言われているらしい。。。

<<オリンピックの銀メダリスト>>

1970年3月17日、アメリカに生まれ、1歳と6カ月の頃、目の痛になり、放射線療法、化学療法などの治療を続けたが、5歳のとき両目を摘出し、全盲となった。全く目が見えなくなっても普通の子供と同じように育てられたキャラが、自転車の乗り方を覚えたのもこの頃。7歳のとき、初めてお父さんがスキーを教えてくれた。翌年から本格的に、なんと滑降！を始めた。何も見えないキャラの後ろをぴったり付添って、ガイドしながら教えてくれた。

全盲者でもナショナルチームに加わることができるようになった1982年（キャラが11歳のとき）、このナショナルチームに選抜された。（すごいことだよ、まったく！）そして1988年（18歳）、オーストリアのインスブルック冬季オリンピックにおいては滑降と大回転の2種目で銀メダルを獲得した。障害者競技スキーの世界で多数の記録を残したキャラは本当にすごい！私もスキーは大好きなので、この辺の話はととても興味深かった。キャラにはいつかはスキーを教えてもらいたい！！



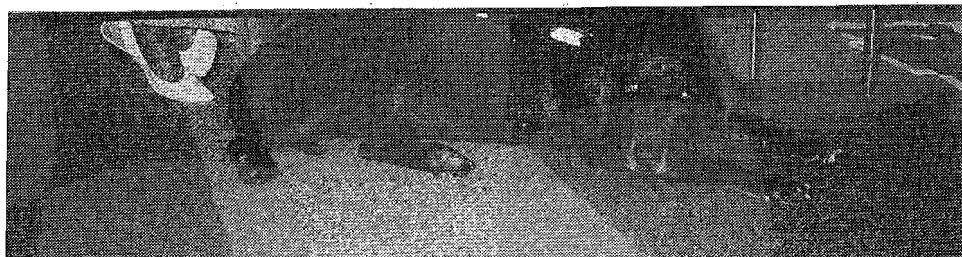
<<チャレンジだらけの大学生活>>

オリンピックの後、ハーバード大学に入学。「大学に入るのもスポーツのがんばりが役立った」という。

大学では「東アジアの言語・文化」を専攻した。日本語は堪能で、今回の講演会ももちろん日本語！講演を聞いて、日本語のボキャブラリー（語彙）は相当数のものであることがわかったが、たまに福永さん（大阪ガス国際部&キャラの友人）にサポートを求めるところもあり、かわいかった。

大学1～2年でキャラが日本に来た頃には、既に日本文化、経済に関心を持っていたらしい。しかし、もっと前から日本に興味があったのかもしれない。11才のときのこと。日本のスキートームと懇親会で話をしとたき、ちょうどキャラはお誕生日だった。この時、日本の選手がキャラにお誕生日プレゼントを贈ったことは、彼女が日本に良い印象をもった最大の理由だったという(^.^)。日本語を学ぼうと思った最初のきっかけもこの時。15才になった頃、お父さんの勧めもあり、本格的に日本語の勉強を始めた。

大学2年のとき、東アジアの研究を始めた。キャラの日本びいきが関係あったのかもしれないが、理由はそんなに単純ではないらしい。小学校のときから公立の学校へ通っていたが、障害をサポートするサービスはたくさんあったという。しかし、大学ではこのサービスが十分ではなかった。法律上、大学は点字やテープなどの資料を提供しなければならないことになっているが、提供方法は大学次第。ハーバード大学が提供したのは、費用の安いテープがほとんどだった。アメリカの超一流大学なのに、、、この情報には私も



講演中も机の下でおとなしいキャラの相棒

がっかりさせられた。統計、数学を含む経済をテープから学ぶことは非常に難しく、キャラは専攻の変更を余儀なくされたのかもしれない。「東アジアの言語・文化」では、サポート面は「経済」より強力だった。しかし、ただでは起きないキャラ！この時、障害者の学生を集め、権利を得るために組織を作り、サービス向上を大学側に訴えた。「一般の人と競争するためには点字資料や本を読んでくれる多くのボランティアが必要！」と。

1990年には第5回全米日本語スピーチコンテストに出場し、みごと二位に入賞した。日本語が上手なもの納得できる。頭のいいキャラだけど、その陰には彼女の並ではない努力がきつと隠されているんだと思う。

大学の卒業論文のテーマは、「日本における障害者の雇用」。(プロップとも通じるころ大いにありというタイトル) 1991年夏に3カ月間、日本各地で現地調査を行うため来日した。この時、大阪ガスの「いきいき市民推進室」の支援を得て、懇談会を開いたのがちょうど2年前というわけ。

同じ年の秋、幼い時からの体験をつづり、仙台の障害者自立施設「ありのまま舎」主催「障害者ありのまま記録大賞」に応募し、「奨励賞」を受賞した。キャラのチャレンジには必ず、結果がついてくるという感じ。全て、キャラの努力によるものなんだけど。。。

障害者雇用問題の卒論調査をして、アメリカと日本は、制度的に全く違うことを知った。アメリカはADA(障害を持つアメリカ人法)という法律を作ったんだが、日本の場合は義務による割り当て制のように感じたという。そういう意味で日本とヨーロッパは似ているとも言っていた。例えば、企業が障害者を雇用しなければならない割合はドイツで7%、日本では1.6%といった具合。アメリカはこの考え方には反対している。障害者だから雇用するのではなく、「差別、区別をしてはいけない」という考え方が基本になっているか

ら。しかし、アメリカよりヨーロッパの方が雇用率が高いのも事実。障害者失業率は、日本とアメリカでほぼ同じ約70%であった。全く制度的に違うのに失業率が同じとは、どういう風に考えればいいんだろう？(これはなでの疑問です)

就職に限らず、その前段階として「教育方法」の問題がある。「小学校のときから一般の子供と違う学校に入れていて、(障害を持つ人は)将来どうやって競争していくのか？」キャラの素朴な疑問である。障害者の皆が皆、キャラのようなパワーをもった人ばかりではないのも事実で、競争には賛否両論あるところだが、ノーマライゼーションの観点で言うと、キャラの疑問は当然の事。日本の隔離教育は、もうそろそろ見直さなければ———と思う。

1992年6月、ハーバード大学を卒業した。卒業に際して、大学院を薦められたが、もう一度オリンピックで金メダルを目指したいと思った彼女は、大学院進学を断ったそう。(もったいない話!?)。。)

「ハーバードではチャレンジが多かった」とふりかえる彼女の顔は、充実感たっぷりの大学生活を物語っていたようだった。



ブルーのパンツスーツがステキでした

<<キャラの夢>>

オリンピックを目指しながら、ユタ州で盲人インストラクターのためにガイドのことなどの講習会を開いたり、目に頼らないで、スキーをする技術を教えたり、相変わらずのアクティブぶり!

「競技スキーをして8年間で銀メダルをたくさんとったからいいじゃないか、とよく言われるが、銀メダルと金メダルは大違い! 銀と銅はたいして変わらないと思うけど、、、」というキャラ。銀と銅も大きな違いと思うのは私だけではないと思う今日この頃。。。しかし、キャラの競技スキーへのチャレンジには終止符を打たなければならない時が来た。眼の癌から上顎癌へ転移、再発してしまったからだ。現在も化学療法による治療を受けている。

「闘病、入院生活はもちろん楽しくない経験だが、学ぶことも多い」と言った彼女は本当に強い人だと思った。「暗い気分を他の患者がふきとばしてくれたことがある。あと2週間しか生きられないと言われた女の子。足を切断してもボディビルを続けているボディビルダーの男性」こんな人たちから、彼女は「強さ」を学び取っているのかもしれない。

癌というたいへんな病気と闘っているにもかかわらず、キャラからは悲愴感のようなものが全くたどってこない。病気の話もジョークに交えてバンバン話す。「一次癌から発生した二次癌。大変珍しいガンなので、お医者さんがほしがっていた。後で、売ればよかったと思った」とか。また、「化学療法が恐かった」と感じたのは、「服についても手についてもこの液(薬)は危ないのよ」と看護婦さんは言っていたのに、私

の血管にその液を入れたのよ! って。ユーモア(ブラック?) たっぷり、余裕すら感じられる。本当はどんなに大変か、どんなに苦しいことか。。。そんなことは微塵も言わない。

現在の彼女の夢は、家族と国際的雑誌を発行し、自分と同じような病気(網膜芽腫)の人達のネットワークを作り、情報提供をすること。今のところは、1年に1回ニュースレターを出すという活動を行っている。一番情報の必要な第三世界にネットワーク通じて情報を提供したいとも考えている。

今年秋、UCLA大学院「法学部」への入学も決定している。法学部の試験が点字受験を認めないので、ここでもまたまた大学側と闘争中! UCLAの入試は、学部により点字が認められているところもあるらしい。

まだまだキャラのパワフルなチャレンジは続くようであるが、最後にキャラの素敵なお言葉を紹介してペンをおくことにする。

「人生はグラスのようなものだと思う。中に入るものは各個人で決めるのだから」

(文&写真: なで)



キャラ・ダンさんを囲んで
左から大阪ガスの福永さん、キャラ、ナミねえ

【プロップ・ネットより】

プロップ・ステーションでは、パソコン通信の
ホスト局「プロップ・ネット」を開局していま
す。セミナー受講生とインストラクター間の、ま
た本会の主旨にご賛同下さる皆様との交流を目的
として、フリートーク、質問コーナー、福祉機器
情報、障害者求人・求職情報、新聞情報などの情
報ボードを用意しております。また、ライブラリ
には、各機種のソフトや画像・音声データなどを
用意しております。皆様のアクセスをお待ちしてお
ります。

BBS名 プロップ・ネット
アクセス番号 06-882-5393
 14400bps/V32/LAPM/V42bis
 (予定：2月から)
運営時間 24時間
ゲストID GUEST

プロップ・ステーションの活動を、2月より
PC-VANボランティア・ワールドでもご紹介させ
て戴く事になりました。ネットワークの皆様
は、ぜひ一度アクセスしてみて下さい。

【企業のみなさまへ】

プロップ・ステーションでは、たくさんの
「人」の集まりである企業が、障害を持つ人た
ちの「存在の意義」と「潜在的なエネルギー」を感
じて下さる事を心から願っています。「共に生き
る」ためには「出会い」という第一歩が必要で
す。プロップでは、障害を持つ人たちとどんなふ
うに日常のおつきあいをすれば良いのかを知っ
て戴くため、企業の皆様のプロップ活動への参画
とご支援をお願いしております。「企業トップの
あなた」、「企業で働くあなた」の力をぜひプ
ロップへ！！

協賛広告掲載へのご協力も何卒よろしくお願
いいたします。

ご連絡をお待ち申し上げます。

【編集委員募集】

編集部では引き続き、取材、原稿作成、イラスト
作成、MacやWindowsを使ってのレイアウトをし
ていただける方を大募集しております。皆様の
協力をお願い致します。

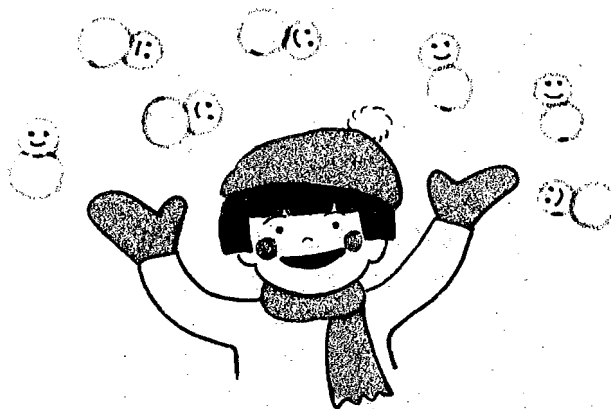
【原稿大募集】

FLANKERでは、読者の皆様からのご意見・ご
感想・情報提供・写真・イラスト等、広く文
章・情報・資料を募集しております。

投稿記事・資料等をご提供下さる方は、事務
局までお願い致します。

【訂正】

FLANKER No.7の「PROP NETWORK from 金
沢」で、生きる場センターが「授産施設」と
なっているのは、「身体障害者通所作業所」の
誤りです。また、富山LIVEネットのアクセス番
号の「0764-32-2791」は旧番号で、昨年1月か
らは、「0764-92-7950」に変更されております。
お詫びして訂正致します。



＜プロップ・ステーション事務局＞

〒530 大阪市北区同心1丁目5-27
(社福) 大阪ボランティア協会内
TEL・FAX 06-881-0041
郵便振替口座：大阪 1-324322
 プロップ・ステーション
銀行振込口座：さくら銀行北浜支店
 普通 3302978
 プロップ・ステーション

【編集後記】

新年を迎え、フレッシュな気持ちでいきたいと思っ
ています(人)。今年はどうな1年になるの
でしょう?? (うさぎ)

FLANKERを作り始めて早2年。いろんなこと
があったけど、自分だけが成長どころか、後退し
ていっているように感じる今日この頃。気分新た
にがんばりたいと思います! (なで)

今年こそは実りのある1年にしたいといつも思
いながら、反省だらけの1年となってしまうの
は、自分に計画性がないからだと毎年思うのだが
2月になるともう忘れてる、こんな自分に誰が
した?!俺やった・・・ \(\wedge\wedge\) (\wedge\wedge) /
スッチャラカチャンチャン。(KIJI)

酷況の長い年末を抜けると俺はSys.Op.だっ
た。プロップ・ネットではHOSTともいうらし
い。。。お～い、ホストマ～ん(関西ローカル
f^^;)。ということで創刊2周年記念号の編集
は、げんさん中心に頑張つてや～。(うめ吉)

新年明けましておめでどうございます、と挨拶
するにはいささか(と言うよりかなり)遅すぎま
すが、「FLANKER」もおかげさまで創刊から2
度目の正月を迎えることができました。よくまあ
ここまで続いたなあ。今年も「FLANKER」を宜
しく願ひいたします。(げんた)

FLANKERの読者みなさん、あけましておめで
どうございます。(少し遅かったかな)今年の正
月のスポーツはすばらしい試合ばかりでしたね。
ラグビーしかり、アメラグしかり。ラグビーで
は、同大vs明大、神鋼の6連覇。しかし、同大は
本当に惜しかったな。PGを全部決めていたら
勝っていたかもしれないのに。しかし、ラグビー
の原点を見せてもらったようでおもしろかった。
そして神鋼の6連覇。ここんとこあんまりパツと
しなかった関西の復活をみるような思いでした。
FLANKER同様、今年もまたよろしく願ひいた
します。(隼人)

たくさんの方々にご愛読戴いて、
「FLANKER」もやっと8号発刊に漕ぎ着けまし
た。心より感謝申し上げます。世界中が、政治、
経済、地球環境などいずれも激動の昨今、日本に
おいても障害を持つ人達の社会的な位置を劇的に
変化させる事が出来得るのかどうか、プロップに
とって大きなチャレンジの年だと思っています。
今年、第25回全国ボランティア研究集会愛媛大
会(2月・松山)において、分科会の担当をさせ
て戴く事になりました。私たちの小さな活動が、
全国に波及して行く事を切に願ひつつ、準備に動
しんでおります。本年も何卒、プロップ・ステー
ションへのご支援をよろしく願ひ申しあげま
す。(ナミねえ)

【KSK FLANKER】 No.8

1994年1月30日

(年4回発行)

編集者 : プロップ・ステーション
編集責任者 : プロップ・ステーション編集長 桜井龍一郎
編集スタッフ : げんた 大和なでしこ うめ吉 ナミねえ うさぎ 隼人 kiji 箱入り
あき あに
表紙絵・題字 : 鈴木純子
イラスト : 勝部あや子 MIT ナミねえ
編集協力 : 池本訓己 京愛 あ～ん
印刷 : セルフ社 〒545 大阪市阿倍野区西田辺町2-2-10 グレース鶴ヶ丘101
TEL 06-691-2365
表紙カラー印刷 : (株)オノウエ印刷 〒393 長野県諏訪郡下諏訪町5311
TEL 0266-28-5553
事務局 : 〒530 大阪市北区同心1丁目5-27 (社福) 大阪ボランティア協会内
TEL・FAX 06-881-0041
郵便振替口座 : 大阪1-324322
プロップ・ステーション
銀行振込口座 : さくら銀行北浜支店 普通3302978



PROP STATION
プロップ・ステーション